



イネンちゃん



イネにゃん



今月の豆知識 ～ 知っておきたいLED電球の特長 ～

LED電球は長寿命で省エネ性が高いというほか、以下のような特長もあります。

- 紫外線をほとんど含まないため絵画や写真の色あせを減らすことができ、虫がよつきにくいというメリットもあります。
- スイッチのON/OFFを繰り返しても寿命に影響が出にくい。
- 水銀を使っていないので、環境にやさしい。 出所：資源エネルギー庁HP



今冬の省エネ・節電のお願い ～ 無理のない範囲での省エネ・節電にご協力ください ～

経済産業省では、11月8日に開催された総合資源エネルギー調査会 電力・ガス事業分科会 電力・ガス基本政策小委員会において、2018年度冬季の電力需給見通し及び対策をとりまとめました。道内においては、今冬（12月～来年3月）に数値目標を設定しない形で節電を要請することを、2015年以来、3年ぶりに決定しました。

冬の寒さが厳しい北海道において、安定的に電気を供給するため、無理のない範囲での省エネ・節電にご協力をお願いします。

- ◆2018年度冬季の電力需給に係る対応を取りまとめました <http://www.meti.go.jp/press/2018/11/20181108003/20181108003.html>
- ◆（参考）「冬季の省エネルギーの取組について」を決定しました <http://www.hkd.meti.go.jp/hokpw/winter18/index.htm>

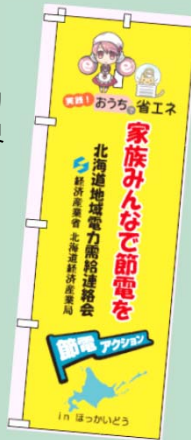
省エネ・節電特集

①北海道エリアにおける2018年度冬季の電力需給見通し・対策について

- ◆道内最大の火力発電所である苫東厚真発電所の全3基が停止するような、大規模な計画外停止（▲154万kW）が発生した場合でも、電力の安定供給最低限必要とされる予備率3%以上を確保できる見通し。
- ◆ただし、北海道エリアにおいては、他電力からの電力融通に制約があることや、厳冬のため電力需給ひっ迫が生命の危険に関わることに加え、本年9月に起きたブラックアウトを踏まえて、万全を期すために、今冬数値目標なしの節電要請を行う。
- ◆さらに需給の安定を図るため、北海道電力に対して試運転中の石狩湾新港発電所1号機の活用の前倒しも求めていく。
- ◆北海道経済産業局では、電力需給対策を推進するため、11月26日（月）に第3回北海道地域電力需給連絡会を開催。電力会社へ発電設備等の保守保全強化を要請するとともに、産業界や一般消費者と一体で省エネ対策等を実施。



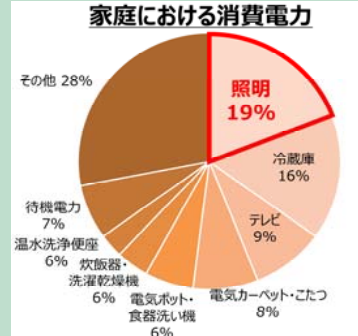
北海道地域電力需給連絡会で実施した街頭節電キャンペーン（平成30年11月29日、於：札幌駅西口コンコース）



②家で簡単に取り組みめる省エネ ～ LED電球で節電・節約！ ～

家庭でいちばん電力を消費しているのは照明。消費電力が大きい電気機器の使い方を見直すことで効果的な節電、電気料金の節約にもつながります。

白熱電球からLED電球に交換すると、年間で約2,680円の節約になります。また、LEDは寿命が長く、気温が低くても、すぐに明るくなるのが特長。まずは、つけたり消したりする回数が多い場所や、すぐに明るさの欲しいトイレや廊下などからLEDに替えてみてはいかがでしょうか。



照明器具

●電球形LEDランプに交換。

年間で電気 90.00kWhの省エネ 約**2,680円**の節約
★54Wの白熱電球から9Wの電球形LEDランプに交換。

●点灯時間を短く。

白熱電球の場合
年間で電気 19.71kWhの省エネ 約**590円**の節約
★54Wの白熱電球1灯の点灯時間を1日1時間短縮した場合。

蛍光ランプの場合
年間で電気 4.38kWhの省エネ 約**130円**の節約
★12Wの蛍光ランプ1灯の点灯時間を1日1時間短縮した場合。

※エネルギー消費量は省エネルギーセンターの実測値を使用。

◎白熱電球と同じ明るさで比べるとどれくらい長持ち？



【出典】

- 資源エネルギー庁「冬季の節電対策メニュー（ご家庭の皆様）北海道電力管内」（平成27年10月）
- 北海道経済産業局「実践！おうちで省エネ」（平成28年10月）

天然ガス導入補助金活用事例（共済ビル） ～給湯・暖房ボイラ更新による災害時生活用水支援～

経済産業省では、エネルギーの安定供給対策や環境負荷が少ないエネルギーの利用促進に取り組んでおり、環境負荷の少ない天然ガスの利用拡大に活用できる補助金をご用意しています。平成30年度は北海道から1件採択がありましたので、紹介します。

なお、平成31年度概算要求額は23.2億円（平成30年度：12.5億円）です。

【採択事業者】

(株)コープ・アイ（共済ビル） <http://www.kyosaihall.jp/index.html>

【企業概要】

- JA共済連のグループ会社であり、札幌駅と市営地下鉄へ地下通路で直結した「共済ビル」の管理業務や保険代理店事業などを実施。
- また、市内でも数少ない映写機を備えた「共済ホール」の運営も行っており、道内外から650席の広さを活用した試写会や講演会、演奏会などのイベントに活用。

【補助金活用のきっかけ】

- A重油の暖房用ボイラを約50年前から使用していたが、維持費の増大や燃料価格の乱高下リスクが顕在化。
- 環境配慮ニーズへの対応や自社の社会貢献活動に資することから、天然ガスボイラの導入（A重油ボイラ3t/h×2基→天然ガスボイラ2t/h×2基）を決意。

【天然ガスボイラ導入による効果】

- 経営への貢献
 - ・環境対策のほか、原料価格の乱高下リスクの低減やエネルギーコスト削減。
 - ・A重油と比較してススや腐食減少による維持費低減。
- 災害時の貢献
 - ・保有する井戸2本は、札幌市から「災害応急用協力井戸（生活用水）」に指定され、災害時において被災者へ常時生活用水の供給（トイレ含む）が可能。
 - ・3年前に耐震改修工事も完了済。共済ホールでの帰宅困難者受入れやテナントの医療施設（診療所、薬局）もあり、協力体制も可能。



共済ビル



共済ホール



災害応急用協力井戸



天然ガスボイラ

【参考】活用した補助金は、以下のURLをご覧ください（今年度の公募は終了）。

補助金名：天然ガスの環境調和等に資する利用促進事業費補助金

執行団体：（一社）都市ガス振興センター <http://www.gasproc.or.jp/ngas/main.html>

<ガス事業室>

エネルギー基本計画のポイント紹介②経済効率性の向上 ～電力コストはどのように変化しているのか～

◆電気料金の推移

2011年の東日本大震災以降、すべての原子力発電所が停止、火力発電所の稼働が増えたことで、2016年度に化石燃料への海外依存度が89%（出典：総合エネルギー統計）となっています。

その火力発電に必要となるエネルギー燃料の高止まりなどが影響して、日本の電気料金は、2014年には家庭向け・産業向けともに大きく上昇。その後の原油価格下落などにより、2014年度以降は低下傾向にありますが、まだ震災前よりも高い水準にあり、電気料金の抑制が求められています。

電気料金の推移（円/kWh）



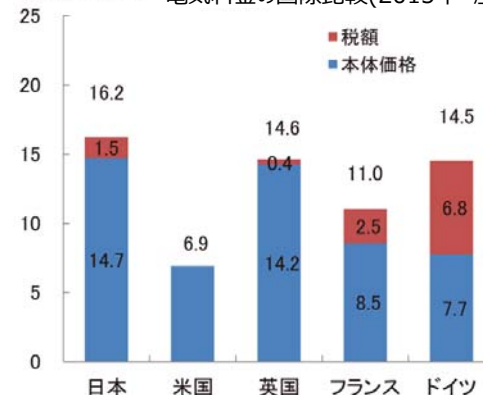
出典：電力需要実績確報（電気事業連合会）、各電力会社決算資料等を基に作成。

◆電気料金の国際比較

為替の影響などもあるため、単純な比較は難しいですが、日本の電気料金は、決して低い水準にあるとは言えません。

燃料高騰や再エネ導入などによる電気料金の値上げは、家計や企業に大きな影響を与えます。

（米セント/kWh） 電気料金の国際比較(2015年 産業用)



（注）米国は本体価格と税額の内訳不明。

（出典）IEA「Energy Prices and Taxes 4th Quarter 2015」を基に作成

<総合エネルギー広報室>

問い合わせ先

経済産業省 北海道経済産業局 資源エネルギー環境部 総合エネルギー広報室

TEL：011-709-2311 内線：2634

E-mail：hokkaido-sogoenergy-koho@meti.go.jp